

地域とつながる！

元気になれる保健室

上京区の堀川通に面する北総合支援学校。小学部から高等部までの子ども計237名と、約170名の教職員が在籍しています。

北区・上京区・左京区・中京区から、スクールバスや送迎、自主通学と、さまざまな方法で子どもたちが通学しています。



車いすやストレッチャーが入りやすいように保健室の入口はフラットになっています。

毎朝、子どもたちが健康観察ファイルを保健室前のカゴに届けてくれます。

入れる場所がわかりやすいようにクラスごとにファイルとカゴに同じステッカーを貼っています。



給食後にはフツ化物洗口を行います。
支援学校では、小学校で実施している「週1回法」ではなく、「毎日法」で実施しています。安全に配慮して、洗口液は通常の毎日法の半分の濃度になっています。

つい触れたいくなる保健室横の掲示物。
子どもたちが熱心に見入っています。
季節ごとに着せ替えられるウサギに
遊び心が感じられます。



医療的ケアは学校看護師と連携して行っています。
子どもたちの些細な変化も共有できるよう、保健室の
中には学校看護師のデスクもあります。

車いすのまま測れる体重計①
体重が測れるストレッチャー②
寝たまま身長が測れるノギス③など
計測機器は種類が豊富です。
気になる体重変化はないか、食事摂取量に
変化はないかなどをみています。

1



3



2



医療的ケアの必要な子どもたちは、登下校時に
保健室で体温・脈拍・SpO₂(経皮的動脈血酸素飽
和度)を測るなどの健康観察をします。

SpO₂ 値の低い子や呼吸状態が不安定な子が
いたら、体位のコンディショニングをしながら
スムーズな呼吸ができるように促します。

薬の飲み忘れや緊急時に対応するため、預かり薬が保管されています。一人ずつ個別にジップ付きナイロン袋に入れて整理されています。

冷蔵庫の外扉には、小学部・中学部・高等部ごとのラベリングがあり、扉を開かなくても必要な預かり薬の有無を確認でき、手早く取り出すことができます。



体温調節が上手にできない子のために、冷凍庫の中には保冷剤がたくさん用意されています。

学校5師の他、小児内科・整形外科・精神科の担当医がおられ、健康相談の機会が充実しています。また、たくさんのお子どもたちを担当している主治医が、月に1回、学校相談医として巡回に来てくださいます。

学校・病院・保護者間で情報共有が適切に行えるよう、多くの関係機関と密に連携をとるのも保健室の役割です。校内そして地域医療との円滑な連携が、子どもたちの元気な毎日と保護者の安心につながっています。